

平成29年度 宇都宮大学3C基金 寄附受入状況と活動報告

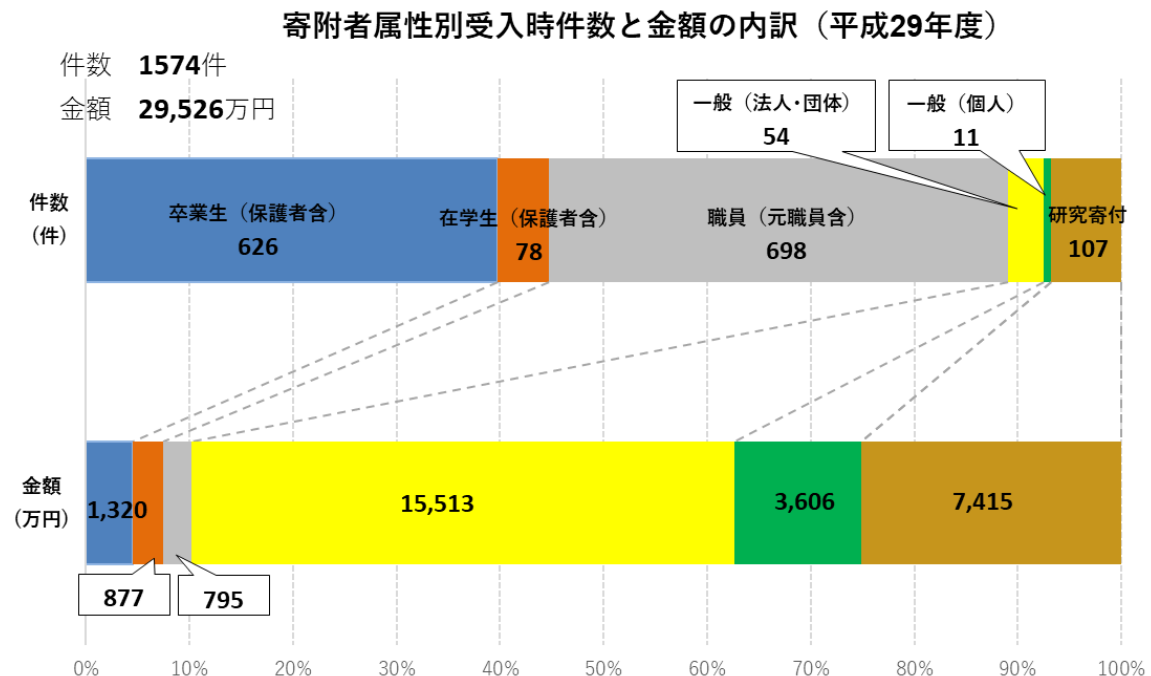
本基金は、旧基金をベースに拡充し平成 29 年度より宇都宮大学3C基金と改めました。宇都宮大学3C基金設立後、皆様からの多くのご支援をいただき、積み立てられた寄附金を学生支援、教育研究活動支援、地域貢献活動支援、キャンパス環境の整備と充実等に反映させていただいております。本基金の趣旨に対して、深いご理解とご協力を賜わり、厚く御礼を申し上げますとともに、これまでのご寄附に関する状況と平成 29 年度の事業実績について報告いたします。

1. 寄附に関する状況

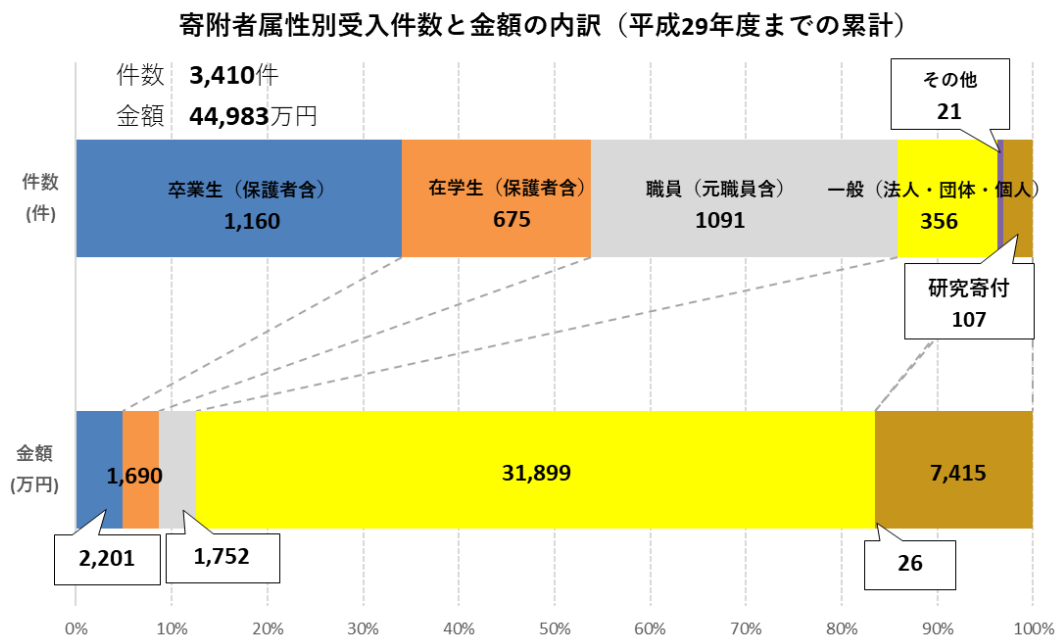
平成 29 年度までに、卒業生、在学生、職員(元職員)、法人・団体の方々3,410 件より、総額約 4 億 5 千万円のご寄附を頂戴いたしました。

また、85 名の個人の方々と 15 法人様が「宇大倶楽部」にご入会いただき、継続的なサポーターになっていただきました。

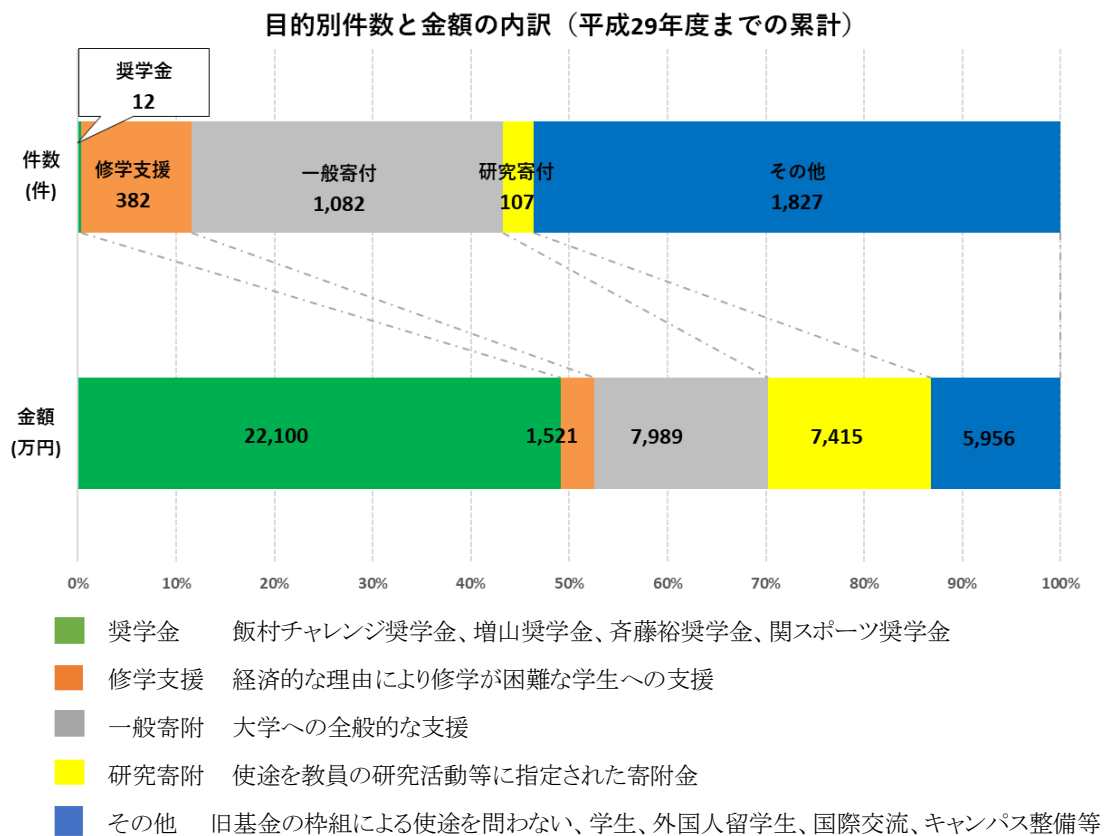
平成 29 年度に頂戴した寄附者属性別による受入件数と金額の内訳は以下のとおりです。



平成 29 年度末までに頂戴した寄附者属性別による受入件数と金額の累計による内訳は以下のとおりです。



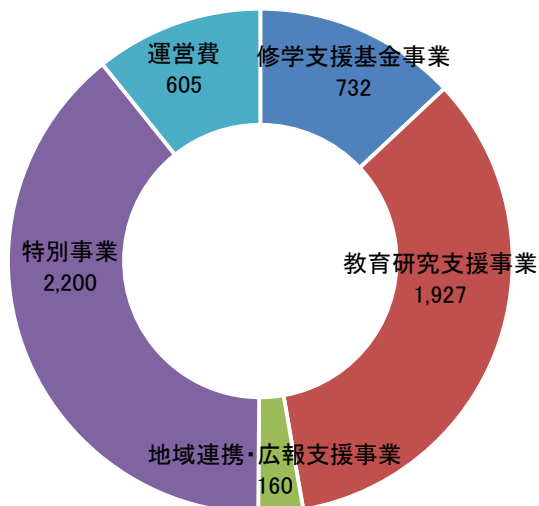
平成 29 年度末までに頂戴した目的別件数と金額の内訳は以下のとおりです。



2. 平成 29 年度の主な実施支援事業の報告

皆様から頂戴したご寄附は、以下の支援事業にて使用させていただきました。

平成29年度の主な支出額 単位（万円）



※研究寄附金（指定寄附金）を除く

< 修学支援基金事業 >

- 飯村チャレンジ奨学金（平成 29 年度より開始）

学士課程に在籍し、経済的な支援が必要と認められる学生 12 名に対して、月額 3 万円/12 ヶ月（合計 36 万円）の給付を行いました。給付者については、ボランティア活動に積極的に参加することを条件に、チャレンジ精神旺盛な学生を書類と面接によって選考しました。

- 入学応援奨学金（平成 29 年度より開始）

宇都宮大学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念せざるを得ない栃木県内高校出身の学生 10 名に対し、入学時に必要となる学資の一部として 1 名あたり 30 万円を支給しました（選考は平成 29 年度に実施し、平成 30 年 4 月に支給）。

< 教育研究支援事業 >

- 増山奨学金 ー外国人留学生支援奨学金ー

大学院修士課程および博士前期課程に在籍する学生のうち、学業成績および人物が優秀で、かつ留学時の生活のための経済的支援を必要とする私費外国人留学生 6 名（前期）、5 名（後期）に対して、それぞれ 10 万円の給付を行いました。

- 増山奨学金 ー海外留学支援奨学金ー

平成 29 年度の支給はありませんでした（条件を満たす該当者がいなかったため）。

- 齋藤裕奨学金

理工系の学士課程 4 年生と大学院修士課程および博士前期課程に在籍する学生のうち、先進的な研究開発に意欲がある学生 4 名に年間 50 万円、1 名に 17 万円の給付を行いました。

- 齋藤裕研究助成金

先進的な理工系の研究者支援のため、アメリカパデュー大学へ研究留学した教員 1 名に対して、150 万円を助成しました。

- 学生支援(課外活動支援等)

峰キャンパス運動場の陸上用助走路の整備を行いました。

課外活動(ボランティア、地域貢献活動)を行うにあたり、バス借り上げを行いました。

- 教育プログラム支援

平成 29 年度は、国際連携教育活動への支援を、地域デザイン科学部(2 件/100 万円)、国際学部(1 件/50 万円)、農学部(1 件/50 万円)、に対し行いました。支援した教育活動のテーマは以下のとおりです。

- ・地域デザイン科学部とインドネシアパジャラン大学地質工学部間との国際連携教育の開発プログラム
- ・ベトナムダナン科学技術大学と本学の大学間交流協定締結に伴う国際連携教育のスタートアップを目的としたデザインワークショップ
- ・中東から見える世界ー世界と日本、中東をつなぐーをテーマにした宇都宮大学国際連携シンポジウム 2017
- ・国際フィールド演習 オーストラリアにおける海外フィールド巡検

- 教育設備の充実

基盤教育英語科目(EPUU)における学習内容の充実を図るため、株式会社 TKC 様のご寄附を活用し、iPad(60 台)の導入に係る費用 666 万円余りを支出しました(iPad 本体の購入、運用設計、教室内ネットワーク設備工事を含む)。

- 大学院生研究支援(大学院生研究奨励金)

文系の研究を行う大学院生を支援するため、学会等における研究成果の発表、学内外の資料収集、各調査費が必要な学生 19 名に対して 97 万 7 千円の給付を行いました。

- 積立

次年度以降のキャンパス環境整備(学びゾーン、情報スペース)のための積み立てに 400 万円を振り替えました。

<地域連携・広報支援事業>

地域貢献活動支援

峰が丘地域貢献ファンド事業(部局企画事業 12 件、学生企画事業 7 件、外部支援事業 1 件と事業の運営)への支援を行いました。

<特別事業>

● 石井会館改修

陽東キャンパス内にある石井会館のリニューアル(約 160 席増設、進路相談室増設、トイレの改修)にあたり、2 階の改修工事費の一部を支援しました。

<基金運営費>

パンフレット作成、返礼品、寄附特典、発送等、3C基金の運営に使用しました。

<研究寄附金(指定寄附金)>

寄附者より指定された教員に寄附された寄附金は、当該教員の学術研究活動等に使用されました。

3. 今後の計画

これまでの支援事業に加え、学びゾーンの整備(峰キャンパス 4 号館、5 号館の改修)、図書館陽東分館の改修(陽東キャンパス)、新規の奨学金ならびに奨励金事業、旧図書館書庫(石蔵)の改装を含むヒストリカルゾーン(峰キャンパス)の整備等を予定しております。

宇都宮大学3C基金の精神に則り、さらなる教育研究活動の充実を図れるよう支援事業の拡充に取り組んでまいります。今後とも宇都宮大学3C基金に対する変わらぬご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。